

(参考様式2)

事前点検シート

計画主体名	栃木県茂木町		
計画期間 実施期間	平成20年度～平成22年度 平成20年度～平成22年度	総事業費(交付金)	3,000千円(1,500千円)

1 計画全体について

項目	チェック欄	判断根拠
目標及び事業活用活性化計画目標が、農山漁村の活性化のための定住等及び地域間交流の促進に関する法律及び同法に基づき画が策定する基本方針と適合しているか	通	地域と連携した遊休農地の解消・活用について検討・実践することで、遊休農地の解消と継続的な有効利用が図られ、地域農産物の増加と景観形成、直売所等の利用による農家所得の向上、都市農村交流や教育ファームとして活用することで、地域の活性化が図られる。
市町村振興計画、農業振興地域整備計画、土地改良事業計画、森林・林業基本計画、特定漁港漁場整備事業計画その他各種関連制度・施策との連携、配慮、調和が図られているか	通	茂木町第4次総合計画 もてぎシャインズ 第4章 4ひとと環境にやさしい農業の推進で遊休地対策を記述
活性化計画及び交付対象事業別概要は関係農林漁業者をはじめとした地域住民等の合意形成を基礎としたものになっているか	通	遊休農地解消対策について全町民に周知啓蒙し、さらに関係機関及び団体等と連携を取ることとされている。
事業の推進体制は確立されているか	通	町農林課が主体となり、芳賀農業振興事務所、JAはが野、中山間地域等直接支払制度推進協議会、各むらづくり団体、関係農業者団体等と連携する。
目標及び事業活用活性化計画目標と事業内容の整合性が確保されているか	通	農地パトロール、遊休農地情報の整備、モデルほ場の設置等を行うことにより遊休農地が解消される。
計画期間・実施期間は適切か	通	耕作条件が悪い農地が遊休農地の大半のため、期間を3カ年と設定した。
交付金要望額は交付限度額(事業費×交付額算定交付率)の範囲内か	通	総事業費3,000,000円÷交付率1/2=1,500,000円(交付限度額)で限度額の範囲内である。

2 個別事業について

項目	チェック欄	判断根拠
自力若しくは他の助成によって実施中又は既に完了した施設等を本交付金に切り替えて交付対象とするものではないか	通	遊休農地解消については、担い手の利用権設定及び解消し同等により解消された農地は、遊休農地台帳から削除され農業委員会が管理する農地台帳からも遊休農地の情報が削除される。
増改築等若しくは合体又は古材を利用した施設整備を行う場合は、農山漁村活性化プロジェクト支援交付金実施要領の運用に定める基準を満たしているか	-	
交付対象とする施設等は減価償却資産の耐用年数等に関する省令(昭和40年大蔵省令第34号)別表等による耐用年数がおおむね5年以上のものであるか	-	
事業による効果の発現は確実に見込まれるか	-	
費用対効果分析の手法は適切か(農山漁村活性化プロジェクト支援交付金における費用対効果分析の実施について(平成19年8月1日付け19企第106号農林水産省大臣官房長通知)により適切に行われているか)	-	
上記の費用対効果分析による算定結果が1.0以上となっているか	-	
事業内容、事業実施主体等については実施要綱等に定める要件等を満たしているか	通	実施主体は町であり、事業内容についても要件を満たしている。
個人に対する交付ではないか、また目的外使用のおそれがないか	通	町及び農業委員会が遊休農地解消対策・利活用活動支援に係る経費に使用。
施設等の利活用の見直し等は適正か	-	
地域間交流の拠点となる施設にあっては当該地区の入り込み客数や都市との交流状況(現状と今後の見込み)を踏まえているか	-	
近隣市町村の類似施設等の賦存状況と利用状況等を踏まえているか	-	
利用対象者、利用時期など施設の利用形態を検討しているか	-	
施設等の規模や設置場所、地域における他の施設との有機的な連携等、当該施設等の利用環境等について検討されているか	-	
事業費精算等は適正か	通	
過大な精算としていないか	通	事業費全てにおいて、町の基準を準用して試算している。
建設・整備コストの低減に努めているか	-	
附帯施設は交付対象として適正か(必要性はあるか、汎用性の高いものを交付対象としていないか)	-	
備品は交付対象として適正か(汎用性の高いものを交付対象としていないか)	-	
整備予定場所は、集客の立地性、農林漁業者の利便性等、施設の設置目的から勘案して適正か	-	
施設用地が確保されている又は確保される見通しがついているか	-	
事業実施主体の負担(起債、制度資金の活用等を含む)について十分検討され、適正な資金調達計画と償還計画が策定されているか	-	
整備後において施設の管理・運営が適正に行われる見込みであるか	-	
維持管理計画は適正か(施設の管理・更新に必要な資金は検討済みか)	-	
収支を伴う施設等においては収支計画を策定しているか、また、収支計画は経営診断を受けるなど適正なものとなっているか	-	
他の事業との合体施行等の場合、事業費の按分等が適正に行われているか	-	

注1 項目について該当が無い場合はチェック欄に「-」を記入すること。
 2 事前点検シートは、公表するものとする。判断の根拠となった資料についてもあわせて公表するものとする。